

会計
事務所の
皆さまへ

MJS情報誌



＼ お得で役立つ情報をお届け ／

MJS

Vol. 14

INFORMATION

テレワークという選択

働き方を考える

変化が激しい時代における

特集1 (P1~2)

人手不足時代、職員に「選ばれる事務所」であるために
ライフステージの変化に対応するテレワークの見直し

特集2 (P5~6)

証憑の回収をかんたんクラウドファイルBOXで円滑化したら
AI-OCR入力で、入力作業の負担も減らしましょう！

- 見直しの第一歩はかんたんクラウドファイルBOXによる「顧問先データのクラウド化」から！（P.3）
- 顧問先のスマホひとつで、かんたんクラウドファイルBOXスマホ対応新機能（P.4）
- そのリモートワーク、本当に安全ですか？（P.7）
- システム以外のその他ハード機器などもMJSにご相談ください！（P.8）
- 注目Webセミナーのご紹介（P.9）
- 経営ひそひそ話（P.10）

特集 1

物価高騰・人材不足、そしてテレワーク対応から6年、もう一度棚卸ししませんか

人手不足時代、職員に「選ばれる事務所」であるために ライフステージの変化に対応するテレワークの見直し

会計事務所業界の有効求人倍率は依然高く、職員の確保・定着はどの事務所にとっても経営課題です。一方で、職員の側にも介護・育児・配偶者の転勤・自身の通院など、働く時間や場所を制約するライフステージの変化が次々と訪れます。「出社一択」の働き方しか用意できない事務所では、優秀な職員ほど離職を選び、新規採用でも候補者から選ばれにくくなる——これは、コロナ禍を経た現在、特に都市部以外で顕著な傾向です。

事務所側の現実的な打ち手は、働く場所を柔軟にすることに尽きます。

テレワーク、サテライトオフィス、時短勤務との組み合わせ…。

ただし、安易な分散勤務は税理士法上の「二か所事務所」に抵触するリスクや、監督義務（税理士法第41条の2）の履行という別の課題も伴います。本号では、ライフステージの変化に対応しつつ、法令にも適合するテレワークの整え方を、日税連・国税庁が示すガイドラインに沿って整理します。



●本コラムは、以下の資料を参考にしています。

国税庁ホームページ

「税理士制度Q&A 5 税理士事務所」

<https://x.gd/ErkvQ6>



背景：なぜ今環境を見直すべきなのか

2020年以降、急速に普及したリモートワーク。会計事務所においても、自宅やシェアオフィスを実質的な「もう1つの事務所」として活用するケースが珍しくなくなりました。しかしながら、急速に普及したリモートワーク、顧問先データのクラウド化、AIの台頭は、従来の業務環境では手間が増えるという乖離を生み始めました。

一方、税理士法第40条第3項では『税理士は、税理士事務所を二以上設けてはならない。』と定められており、いわゆる『二か所事務所』に該当すると懲戒等の対象となる可能性があります。

ただし、これは『一切の分散勤務を禁止する』という趣旨ではありません。

ポイントとなるのは、その場所が『税理士事務所』として外部に表示されているかどうか、という運用上の取扱いです。

今号では改めて、整理と今後の選択肢についてご案内させていただきます。

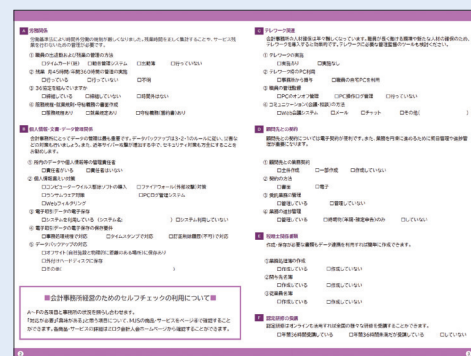


制度改正×デジタル化

『会計事務所経営のためのセルフチェック』

ミロク会計人会

ミロク会計人会のユーザー様には「情報ネットワーク委員会」監修「制度改正×デジタル化『会計事務所経営のためのセルフチェック』」をダウンロードしお使いいただくことが可能です。右記のチェックポイントに沿って進めます。



<https://x.gd/KiK66>

看板・税務相談・労務管理の3点を、改めて棚卸し

実務上のチェックポイントと、見直しの切り口

通達やガイドラインを踏まえて、以下の3点を満たしているかを、改めて棚卸ししてみingことをお勧めします。いずれも『あくまでガイドラインに従う』のが前提です。

形式的な看板の有無だけで判断するのではなく、所属税理士会及び日本税理士会連合会への確認などで判断される点に留意してください。



■ 実務上の3つのチェックポイント

CHECK 01

外部への表示(看板)を 設けない

分室・支所・サテライトといった呼称を、看板・名刺・ウェブサイト・契約書類等で外部に出していないか。『〇〇税理士事務所△△分室』のような誤認表示も対象。

CHECK 02

税務相談を 当該拠点で受けていない

顧問先からの相談対応・契約締結を当該拠点の所在として行っていないか。受付窓口・契約上の住所は『本拠』に集約されているかを確認。

CHECK 03

労務管理上の配慮

税理士法第41条の2に基づく使用人等への『監督義務』は、勤務地を問わず及ぶ。リモート・サテライト勤務でも、業務指示・進捗確認・成果物レビューが機能する体制と労務管理規程の見直しを推奨。

■ 家賃高騰・転居コスト上昇の今、3つの見直し案

A

職員の在宅勤務比率を上げる

家族の介護・ライフステージの変化に伴う働き方に対応し、離職を抑制する効果がある。本拠以外の場所での業務は『事務所』としての表示を行わない。



B

バックオフィス活用

一部業務(資料整理・データ入力等)を低コスト立地のバックオフィスに移す(外部表示なし)。事務作業のみで顧問先対応は行わない。



C

サテライトで採用活性化

駅が近い立地にサテライトオフィスを設置し採用を活性化(『事務所』としての表示は行わない)。若手人材の確保にもつながる。



見直しの第一歩は、かんたんクラウドファイルBOXによる「顧問先データのクラウド化」から！

※「FACELINK NX-Pro」「MJS AI監査支援」「Hirameki 7」「かんたんクラウド」は、株式会社ミロク情報サービスの登録商標です。

郵送ゼロ・FAXゼロ・出張ゼロでも、証憑は集まる

見直しの第一歩は かんたんクラウドファイルBOXによる「顧問先データのクラウド化」から！



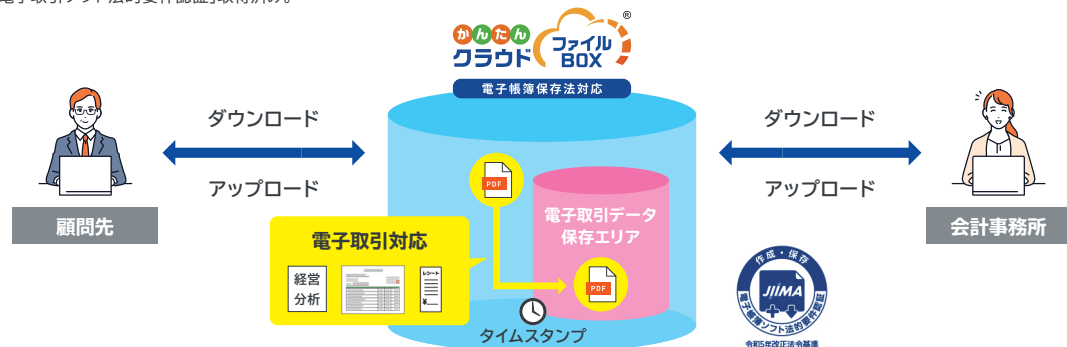
前ページの特集で触れたとおり、本拠以外の拠点や在宅勤務を活用するスタイルが定着しつつあります。そこで悩ましいのが『顧問先からの紙の証憑・帳票をどう回収するか』。郵送やFAX、職員の往訪に頼っていると、拠点の運用は途端に立ち行かなくなり、せっかくAIを使い仕訳を自動化しても、その他の業務が増えるだけで、人件費が減らないどころか増加していく収益構造となります。重い固定費をいかに切り離すかという観点で、MJSでは『かんたんクラウドファイルBOX』の活用を提案します。

『かんたんクラウドファイルBOX』なら、顧問先と会計事務所の間で証憑データを“クラウド上のポスト”で受け渡しでき、電子取引にも一気通貫で対応できます。

■かんたんクラウドファイルBOXとは？

会計事務所と顧問先の間でやり取りされる請求書・領収書・決算報告書・経営分析資料・契約書などの電子ファイルの受け渡し場所として利用できるクラウド上のストレージサービス。電子取引に該当するファイル(請求書・注文書・領収書・契約書など)は、電子帳簿保存法の要件に沿った保存(取引情報入力・タイムスタンプ付与)も可能。

※ JIIMA「電子取引ソフトウェア的要素認証」取得済み。



※JPG・JPEG・PDF形式のみ
会計事務所と各顧問先企業とのデータの受け渡し場所および電子取引に該当するファイルの保存先としてご利用いただけます。
かんたんクラウドは、マイクロソフト社のクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure(マイクロソフト アジュール)」で安全に運用しています。

■拠点／テレワーク環境との相性

顧問先がアップロードした瞬間に事務所側で証憑を確認でき、郵送・FAX・往訪に頼る必要がありません。アクセスは本拠・在宅・サテライトのどこからでもブラウザ一つで完結し、テレワーク下でも回収業務が滞りません。二階層までのフォルダー管理で顧問先ごと・月次ごとの整理も容易、スキャン作業は顧問先に代行してもらえます。

■料金プラン（事務所向け）

- 無償版：かんたんクラウド会計／給与を契約中の事務所であれば100MBまで無償
- 単独利用版：月額500円(税抜き)／3GBから、3GB単位で最大30GBまで追加可能 ●保存期間制限なし

※「ACELINK NX-Pro」「MJS AI-OCR入力」「かんたんクラウドファイルBOX」は、株式会社ミロク情報サービスの登録商標です。

撮影・アップロード・電子取引登録まで、スマホで完結

顧問先のスマホひとつで、 かんたんクラウドファイルBOXスマホ対応新機能



顧問先から「外出先で受け取った紙の領収書を、いちいち事務所に戻ってPCから取り込むのが面倒」「そもそもスマートフォンしか使わない」という声をよく聞きます。

2026年6月、『かんたんクラウドファイルBOX』はスマートフォン対応の新機能をリリース。スマホで撮影→そのままアップロード→電子取引登録まで、PCを介さず完結できるようになります。

また、次ページからはAI-OCR入力とかんたんクラウドファイルBOXを活用した方法についてのご提案！証憑は集める時代から、クラウドに“集まる”時代へ!!

■新機能の概要

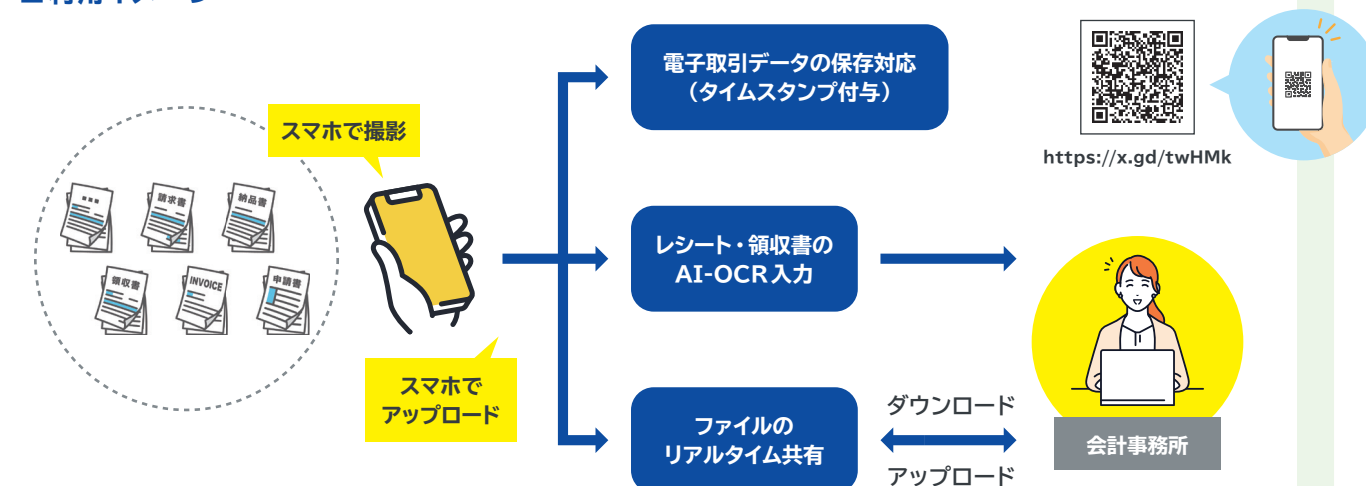
2026年6月のアップデートで、「かんたんクラウドファイルBOX」の主要機能——アップロード／ダウンロード／閲覧／検索／フォルダ操作——がモバイル端末からそのまま利用可能になりました。

スマートフォンのカメラで領収書などを撮影し、その場でアップロードできる撮影機能も搭載。

さらに、アップロードしたファイルに対する電子取引登録(取引日付・取引先・取引金額など)もモバイル上で完結できるようになり、外出先や移動中でも、PCに戻ることなく証憑回収から登録までを一気に済ませられます。

専用アプリのインストールは不要。レスポンスWebデザインを採用しているため、スマートフォンのブラウザでブックマークからログインするだけで、すぐに利用を開始できます。

■利用イメージ



次のページ 証憑の回収をかんたんクラウドファイルBOXで円滑化したらAI-OCR入力で、入力作業の負担も減らしましょう！

特集 2

証憑の回収を
かんたんクラウドファイルBOXで円滑化したら

AI-OCR入力で、入力作業の負担も減らしましょう!

AI-OCR入力とは、スキャンしたレシートや通帳、クレジットカード利用明細を取り込み、
OCR解析して仕訳を自動作成する、ACELINK NX-Proのシステム

① 証憑をスキャンして
画像データを取り込み

② 解析し、自動仕訳

③ 仕訳を補完・訂正し、
仕訳取込

証憑を読み取り、仕訳辞書が適用できなかった読取データを前年・当年仕訳からAI類推機能により仕訳をセットします

AI-OCR入力で保存される証憑画像のデータがサーバーのデータ容量を圧迫しないか心配...

ご安心ください! 証憑画像の保管場所は自由に変更することができます。

スキャナースキャン後
フォルダ内のファイル

スキャン後の読取元の証憑画像
ファイルは、AI-OCR入力に取り
込んだ後も
残ったままと
なります。

読取元の証憑画像
ファイルとは別に、
証憑画像データを
保存

証憑画像データは、AI-OCRで取り込んだ
仕訳データとひと付けられ、「証憑保管場所
変更」で選択した保管場所に保存されます。
クラウドストレージまたは共有フォルダの場
合は会計データとは別ファイルに、会社デー
タの場合はACELINK NX-Proのデータ
ベース内に保存されます。

証憑画像データの
保管場所の選択が可能

クラウドストレージ
(オプション)
共有フォルダ
会社データ



使い方に迷ったらAI-OCR Information

AI-OCR入力をより快適に使っていただく
ために、TVSサイトのAI-OCR Information
では、操作動画や機能追加情報を随時更新し
ています。

使い方に迷ったときも、最新の運用ポイントを
知りたいときもまずはこちらをご覧ください。
システムからそのまま開くこともできます。

AI-OCR Information
はこちら



<https://x.gd/hNTWq>

操作説明動画
はこちら



<https://x.gd/PSKqO>

TVS サイトログインパスワード
の再発行はこちら



<https://x.gd/dXQgs>

ACELINK NX-Pro
会計大簿からは
1.入力処理>91.その他
ミロにやんのアイコンから
アクセスできます!



かんたんクラウドファイルBOXで受け取った証憑を
AI-OCR入力へシームレスに連携!



顧問先がかんたんクラウドファイルBOXにアップロードしたレシート・領収書などの証憑は、AI-OCR入力へ直接
連携が可能。証憑の回収からデータ入力までを一気通貫で効率化し、手作業の削減と入力精度の向上を実現します。
外出先や複数拠点からのデータ収集にも対応し、スムーズで抜け漏れのない運用を支援します。

かんたんクラウドファイルBOX

ACELINK NX-Proへ

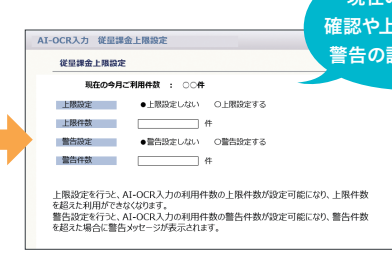
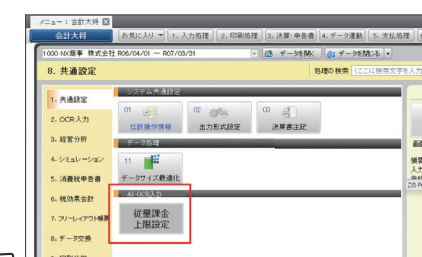
証憑をアップロード

直接連携&
証憑を解析

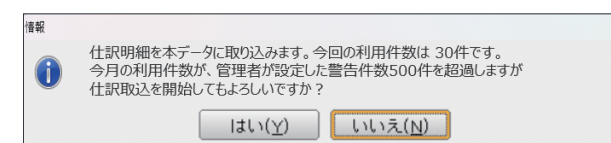
AI-OCR入力の従量課金の不安を解消!

AI-OCR入力に利用件数の上限設定が追加されました

仕訳取込において、利用件数の
上限設定ができるようになりました!あらかじめ設定した件数
に応じて制御が行われるため、
計画的かつ安心
な運用が可能
です。



現在の利用件数の
確認や上限件数の設定、
警告の設定が可能に!



警告設定を行うと、設定した件数に達した際に警告のメッ
セージが表示されます。仕訳取込を自動的に制限することで、
想定外の超過利用を防止することが可能です。



※開発中につき、画面やメッセージは変更になる場合があります

そのリモートワーク、本当に安全ですか?

そのリモートワーク、本当に安全ですか？



監督義務は『目視できる範囲』だけでは果たせない時代です。

本ページで、リモート環境下でも監督を機能させるためのログ管理・セキュリティ対策をご紹介します。

リモート環境で高まる主な脅威

不正アクセス・アカウント乗っ取り

自宅Wi-Fiやカフェなどのフリー Wi-Fiを利用することで、通信の盗聴や不正アクセスのリスクが高まります。ID・パスワードの使い回しによるクラウドサービスのアカウント乗っ取りも増加しています。



端末の紛失・盗難

ノートPCやUSBメモリの持ち出し機会が増えることで、物理的な紛失・盗難による情報漏えいの危険性も拡大しています。



マルウェア感染・ランサムウェア

自宅環境では社内ネットワークのような統制が効きにくく、セキュリティ対策が不十分な端末が標的になりやすい傾向があります。不審なメールやファイルをクリックにマルウェアへ感染し、社内ネットワーク全体へ被害が波及するケースも少なくありません。



シャドーITの増加

業務効率を優先するあまり、許可されていないクラウドサービスやファイル共有ツールを利用してしまふ「シャドー IT」も問題です。管理外のツール利用は、情報漏えいリスクを高める要因となります。



内部不正・ヒューマンエラー

自宅環境では周囲の目が届きにくく、情報の私的利用や誤送信などのヒューマンエラーが発生しやすい状況にあります。



3つのMJSセキュリティで解決

ログ管理



操作履歴を見える化、セキュリティと労務管理を同時に強化「PC パトロール for Cloud」

リモートワーク環境でログ管理を導入することで、アクセス状況や操作履歴を可視化でき、不正アクセスや情報持ち出しの早期発見につながります。さらに、PCのログイン・ログオフ時間や業務システムへのアクセス履歴「監督義務を遠隔下でも履行するための記録基盤」を把握でき、実際の稼働状況を確認できます。

被害拡大予防



どこからの接続でも厳格チェック、被害の拡大防止へ「MJS LANパトロール」

「MJS LAN パトロール」は、未登録のPCやスマートフォンを自動検知し、即時に遮断。万が一インシデントが発生した場合でも、迅速な検知・遮断により被害の拡大を防止します。無線・有線を問わず常時監視し、サポート終了OSの端末も一覽で把握。私物端末や感染機器の侵入を防ぎ、安全な通信環境と強固な統制を実現します。

入口対策



脅威を通さない強固な入口対策「FortiGate」

FortiGateは、リモートワーク環境でも「会社と同じ安全性」を実現するネットワークセキュリティ機器です。ネットワークの入口に設置することで、不正アクセスやウイルスの侵入を未然に防止。自宅や外出先からの接続もVPNで暗号化し、安全な通信を確保します。

システム以外のその他ハード機器などもMJSにご相談ください！



会計事務所の業務効率化には、システムだけではなく、業務を取り巻くハード環境が欠かせません。ミロク情報サービスでは、業務システムと合わせてビジネスフォン・PC・モニターなどのハード機器もご用意できます。窓口を一本化することで、導入がよりスムーズになります。

画面が暗い、白が黄ばむ、文字がぼやける…
お使いのモニターにそんな現象はありませんか？

3つの便利・高性能なモニターをご紹介します！

細かい入力業務が多い方に！

沢山の情報が表示できる高解像度ディスプレイ

入力業務の多い従業員視点でおすすめ！「WQHD (2560×1440)」はフルHDよりも高解像度で一度に広い範囲を表示できるのでスクロールする手間が軽減し、快適な作業が行えます！



27型ワイド液晶ディスプレイ
I・O DATA 製 LCD-MQ271XDB-A

節電対策をしたい経営者の立場の方に！

消費電力を抑える省エネディスプレイ

節電対策にピッタリ。PCの状態に連動して自動的に液晶ディスプレイの電源をオフすることができます。5年たったディスプレイは画面が暗くなります。輝度が下がっても消費電力は変わらないため、5年をめどに見直しましょう！



フルHD23.8型ディスプレイ
I・O DATA 製 LCD-A241D

出張や外出が多い方に！

女性でも簡単に持ち運べるモバイルディスプレイ

外出先やテレワークで活躍します。資料やシステムなど画面を共有したいけど大きなディスプレイを持つていくのは大変…そんな時はモバイルディスプレイで対応！営業などの際にもお客様専用のディスプレイでしっかり伝わります。給電もケーブル1つでできるので便利です。



15.6型モバイルディスプレイ
I・O DATA 製 LCD-CF161XDB-M

※画像はイメージです。実際の機種とは異なる場合があります。

モニターのほか、
ビジネスフォンや複合機など
多数の製品をご用意しております！



ビジネスフォンの導入は、取次ぎミスの削減や応答スピード向上など、業務をスムーズにするさまざまなメリットがあります。さらに内線化することで拠点間・フロア間の通話料削減や円滑な情報共有を実現でき、日々のコミュニケーションのコストと手間をまとめて改善できます！



FUJIFILM
富士フイルム 印
複合機



Canon



KYOCERA

4つの
機能を1台に

※画像はイメージです。実際の機種とは異なる場合があります。

コピー スキャナー プリンター FAX

古い複合機はファームウェア更新ができず、知らないうちにリスクを抱えている場合があります。複合機はネットワークにつながる機器であり、スキャンデータや認証情報など重要な情報を扱います。そのため、対策が不十分なまま使用すると、不正アクセスや情報漏えいの入口となる恐れも！安心して利用を続けるためにも、保守期間を目安に、最新のセキュリティ機能を備えた機種への見直しが大切です！

MJSでは富士フイルム・Canon 複合機の
販売実績が多数あります！
『複合機』もMJSにお任せください！

まずは資料請求から！
右のQRまたは
リンクからお気軽に
お問い合わせください



<https://x.gd/rsdNp>



注目Webセミナーのご紹介

※「PCパトロール」「MJS LANパトロール」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。
※その他、記載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載された内容および製品の仕様は予告なく変更することがあります。

※記載されている製品名・会社名は各社の証憑または登録商標です。

注目Webセミナーのご紹介

MJSが毎月開催するWebセミナーの中でおすすめの内容をご紹介します

おすすめ
1

生成AIと複合機で実現する“現場が回る”業務改革 ～生成AIと複合機で始める業務効率化の活用例～

開催日 2026年7月16日(木)
14:00～15:00

受講料 無料 **定員** 100名

講師 日本マイクロソフト株式会社／
京セラドキュメントソリューションズ
ジャパン株式会社／
株式会社ミロク情報サービス
MJSエバンジェリスト 小林禎治

組織で生成AIの利用に取り組まれる中、生成AIは昨日までできなかったことが今日はできるといったように日々進化しています。生成AIは単体利用だけでなく、複合機などと組み合わせることで、業務の効率化につながる可能性も秘めています。本セミナーでは両ツールを活用したヒントをお届けします。

お申し込みはこちら



<https://x.gd/VhJnf>

おすすめ
2

【会計事務所様向け】 会計事務所の業務効率を底上げするMJS実装型AIの活用& 毎月の仕訳チェックに便利! MJS AI監査支援のご紹介

開催日 2026年7月22日(水)
14:00～14:40

受講料 無料 **定員** 100名

講師 株式会社ミロク情報サービス
マーケティング・営業推進部
色川夏香

本セミナーでは、入力作業の効率化や問い合わせ対応の省力化など、会計事務所・税理士事務所の業務を幅広く支援するMJSの「5つのAI」をご紹介します。さらに今回は、その中でも「MJS AI監査支援」に焦点を当て、仕訳チェックや監査業務の負担軽減につながる活用方法をわかりやすくご紹介いたします。

お申し込みはこちら



<https://x.gd/ZkRer>

経営ひそひそ話



日々の業務の中でふと感じる「これって、他ではどうしてるの?」という疑問に、ちょっとしたヒントや新しい視点をお届けするコラムです。今回のお話は…

リモートワークの落とし穴

皆様ご存じのように、2020年の「緊急事態宣言」に始まり、組織は、いわゆる「リモートワーク」を余儀なくされ、特需と言わんばかりに各組織にリモートワークシステムが導入されました。勿論、一言でリモートワークと申しましていろいろな形態や仕組みがあります。専門家として、導入バンダーからの適切な提案があり、これに基づいて導入をされたとは思いますが、正に、緊急事態であり、考える時間が少なかったのではないのでしょうか。つまり、前回説明したリスクアセスメントが不十分のまま、導入になってしまったと言わざるを得ない部分もあるでしょう。心ある組織は、これではいけないと、導入後、改めてリスクアセスメントを行う、リスクを再評価することで、適切な対応を取られている組織もあります。しかしながら、一旦、導入して、稼働することが分かれば、そのままの状態を使い続けているのではないのでしょうか。これは、「ここだけの話」であり、このコラムのテーマである、経営ひそひそ話に通じるのではないのでしょうか。リモートワーク(在宅勤務)におけるリスクは、むしろ人間系のリスクとも思われます。というのも、PC環境でのリスクは、PC機器×ネットワーク×操作者×対象業務×環境などいろいろな要因が関連します。これらを比較すると、これまでの、非リモートワーク(つまり社内での作業)では、会社から貸与されたPC機器を使い、管理された区画(職場)で、管理されたNWに接続し、職員自身が、役割と責任の中で対象業務を行っていました。ところがこれが、在宅勤務になった場合、職員の自前PCを使う可能性もあるかも知れません。そして、家庭内の一室から、職員の家庭内NWを経由して社内NWに接続し、職員が、役割と責任の中で対象業務を行います。ここで、家庭内であることで、職員以外の家族も、業務用のPC画面を覗き見ることもできてしまいます。家族を信用しないのか?という話にもなりますが、家族は職員ではありません、業務上、あるいは、雇用上の契約もなく、何の責任も負っていないのです。身内だからというご意見もありますが、事件が起きてしまったら、「言い訳」に過ぎません。事件が起きる前に予防することが情報セキュリティなのです。

	PC環境	ネットワーク	操作者	対象	業務環境
社内勤務	会社貸与	社内NW	職員	業務分離	社内(管理区画)
在宅勤務	職員自前PC	家庭内NW	職員、家族	分離困難	家庭内

大義名分はさておき、このような不確実性の中で、全社員に対して一律、在宅勤務というのも少し乱暴だと思います。職員が扱う情報は、業務によってもそれぞれであり、資産価値やリスク値も異なっていることでしょう。更に、職員のPC操作、NW接続、更に、情報セキュリティに関する意識を含めた、情報リテラシーは様々でしょう。そこで、在宅勤務を許可する「業務」の選別と「人選」が必要なのかも知れません。勿論、これらのルールを策定して対処された組織もありますが、リスクアセスメントが十分でない状態で、乱暴にリモートワークを導入してしまった組織もあるのではないかと危惧します。昨今は、このように緊急対応的に導入した設備の脆弱性を狙った攻撃も散見されます。脆弱性への対応は今からでも遅くありません、「思い立ったが吉日」です。あの時、やっておけば、とならないためにも、少し立ち止まって考えていただきたいと思います。

リモートワーク時代の情報セキュリティ対策強化のご提案

リモートワークの拡大により、家庭内ネットワークや私物PC利用など、新たな情報セキュリティリスクが顕在化しています。

具体的な
製品・
サービス

- FortiGate：強固な境界防御とVPN環境の整備で、安全な社内への接続を実現
- PCパトロール for Cloud：拠点端末と在宅端末の操作ログ管理や不正利用の可視化
- 信頼性の高いネットワーク機器の導入：家庭・拠点間通信のセキュリティの強化等がございます。



“導入して終わり”にしないリモートワーク対策を、今こそ見直してみませんか。お気軽にご相談ください。

【寄稿】浅井 治(税経システム研究所客員研究員講師)

ACELINK NX記帳くんをご利用中ですか?

ACELINK NX記帳くんは2028年3月31日でサポートが終了します! 顧問先システム「かんたんクラウド」への移行を早めに進めませんか?

直前の移行だと例えばこんな問題が…

ACELINK NX記帳くんとは画面が違うので操作になれるまで時間がかかりそう。
早めに移行して操作性に慣れておきたかったな

顧問先

トラブルを発生させないためにも

顧問先数十件を一気に変えるのは大変… 急に顧問先からの問い合わせが増えて対応しきれない! ずこしずつ移行を進めておけばよかったかも

会計事務所

かんたんクラウドへの移行手順を
TVSサイトで公開中

ACELINK NX記帳くんの販売終了・メンテナンス終了に関する専用ページ



<https://x.gd/HPIfW>

NX記帳くんからかんたんクラウド会計への移行手順書



<https://x.gd/Dtuiu>

早めの移行準備を進めましょう!

※「かんたんクラウド」「ACELINK NX記帳くん」「MJS AI監査支援」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。

契約書・請求書の保管、まだ紙で対応していませんか？

年末調整や給与明細の電子化は進んでいる一方で、顧問先の契約書・請求書・領収書などの紙書類は、いまだ多く残っていませんか？
電子化に取り組んでいても、保管・管理の運用が整わず、業務負担が増えているケースが多くあります。

STEP-1
年末調整申告の電子化

STEP-2
給与明細の電子化

STEP-3
勤怠のデジタル化

NEXT
書類保管・電子契約



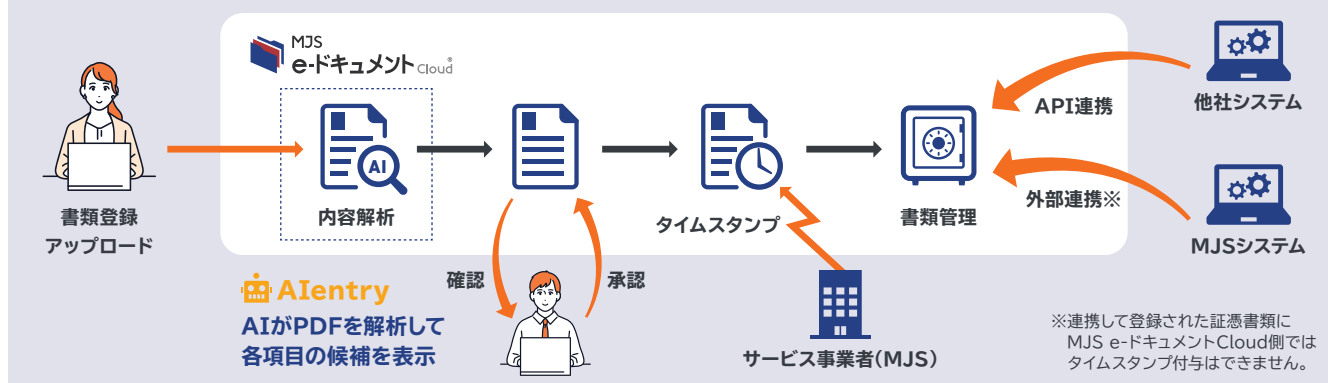
MJS
e-ドキュメント Cloud[®] キャビネット(電子書庫)

電子帳簿保存法完全対応



電子で受け取った書類は電子のまま保管する義務があります。タイムスタンプ付与で電子帳簿保存法の要件をクリア。

キャビネット(電子書庫)サービスイメージ



1

電帳法対応のタイムスタンプ
付与で法令要件をクリア

2

PDF以外のファイルも
表紙PDFへ添付して保管可能

3

フォルダ・権限管理で
組織・役職ごとのアクセス制御

4

キーワード検索で
いつでも素早く書類を参照

詳しくはこちら



<https://x.gd/o0VBty>



さらに

電子契約(サイン機能)もできます

MJS
e-ドキュメント Cloud[®] サイン

契約書もペーパーレスに。印紙代・郵送コストをゼロに。電子サイン・電子署名の両方式に対応しています。

● 申込書～基本契約書まで対応 / ● 取締役会議事録にも対応 / ● 締結後はキャビネットで一元的保管

削減できるコスト

● 印紙代 / ● 契約書1通あたり数百円～数万円 / ● 郵送費・封入工数 / ● 往復対応がゼロに

※「MJS e-ドキュメントCloud」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。

各商品・サービスの資料をご希望の場合は右記の
二次元バーコードよりお問い合わせください。



<https://x.gd/B7z94>

● 商品については、担当支社へお問い合わせください。

発信元
株式会社ミロク情報サービス
営業本部 マーケティング・営業推進部

東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル48F
TEL: 03-5326-0381 FAX: 03-3343-5789